

寺報

No.675

令和5年11月

蓮華寺
發行

御聖訓

法華經ほけきょうを持つ人ひとは、父ちちと母ははの恩おんを報ほうずるなり、我わが心こころには報ほうずるとは思おもはねども、此この經きょうの力ちからにて報ほうずるなり。

『上野殿御消息』



(解説)

日蓮大聖人の教えの根本は報恩感謝であります。だが、多くの人達はこれにそむき、不正・不信・裏切りといった社会的な病に日々悩まされています。何でも自分中心的にものを考え、自分の欲の為には他人をおとしいれ、また他人をも恨むなどといった風潮が蔓延している状態です。

ですから、毎日のように殺人・詐欺・いじめなどの事件が起きています。

誰もが、法華經・お題目の信仰を持ち、人に、社会に、また先祖に感謝し、そして、そこに生きる事の喜び、ご本仏様（我々の命の元）に生かされている事の喜びを信じる事が出来たら、この世が素晴らしい浄土となるのです。

大聖人のお言葉の通り、法華經・お題目の信仰を持つだけで、自分でも気付かないうちに、今健在の父と母にご報恩が出来、また亡くなられた父母にもご報恩が出来るのです。

ですから、自らが法華經・お題目を唱えるのであれば、その効力は更に素晴らしいものとなるのです。

檀信徒研修会のお知らせ

十一月二十五日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職

*『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂

持参品：聖典(お経本)・事務所にて、数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さずお経とお題目唱え、頑張つて参加して下さい。お寺で、気持ちを込め、大きな声でお勤めをしましょう。

また、太鼓をたたいて、精神を統一してお題目を唱えてみて下さい。

*自分の懺悔(反省)・罪障消滅・または家内安全・当病平癒などの祈り、先祖や仏様の供養の為に拝みましょう。

②イス席です。

今年度最後の研修会です

◎日蓮大聖人

聖語カレンダー《限定販売》

日蓮宗新聞社発行で、縦58横38センチです。

一ヶ月で一枚、上半分に大聖人のお言葉とその解説、下半分がカレンダーで、干支・二十八宿・旧暦が書かれ、更に宗門聖日(日蓮宗で重要な日)も出ております。

◎令和六年度「暦」

一部・・・五〇〇円
一部・・・一五〇円

☆霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『九識霊断法』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

霊断と『霊』の字がありますが、霊を呼び出してなどという事は決してありませんのでご安心下さい。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【ご相談料は一件につき三千元です】
必ずご予約をお願いします。 ☎776-5840

『七五三』のお知らせ

当山では毎年『七五三』のご祈禱を行っています。

『七五三』は本来「数え年」で行うものですから、

◎七歳・平成二十九年生れの女兒

◎五歳・平成三十一年生れの男児

◎三歳・令和三年生れの女兒

となりますが、ご家庭の事情により「満年令」でも構いませんので、子供さんの幸せと発育を願いまして、日蓮宗の特別のご祈禱をお受け下さい。

時間は約二十五分くらいです。

なお、子供さんには「鬼子母神木札」「千歳飴」「干支のキーホルダー」「記念写真」を差し上げますのでどうかお早めに、ご予約を戴きますようお願い致します。

※用意する物・・・御神酒一升(ご本人の名前を書く)



盛運祈願会へお参りしましょう

毎月ついたち午後一時からの、お守り(俱生霊神符)を戴く行事を「盛運祈願会」といいます。

ついたちの日が仕事で忙しいとか、またご遠方の方は仕方ありませんが、是非「盛運祈願会」に参拝してお守りを戴いて下さい。

そして、我々はお守りを戴くだけではなく、御寶前に於きまして御本尊様・日蓮大聖人様・諸天善神・俱生霊神様に

『一ヶ月間どうも有り難うございました。また、今月もよろしくお願い致します。』

と、御礼する事が大切なのです。更に、我々が知らず知らずの間に作って来た罪を、自らが懺悔滅罪し、一心に盛運を祈願して、俱生霊神のご守護をより強くする事も忘れてはいけません。

また、我々の身体はご先祖様より受け継がれたものです。

ですから、皆様ご自身の懺悔滅罪だけではなく、先祖の懺悔滅罪そして成仏を願う事も大事な事なのです。

日蓮大聖人と大黒様

日蓮大聖人は、大黒様の信仰の大切さをお弟子に勧めております。

「あなたがもし家に大黒様をお祀りし、一生懸命法華経・お題目を以て供養し信仰したならば、日々安樂にすごされるし、また諸願が成就し、更に現世安穩・後生善処の樂を得る事が出来る」と教えられました。以来、大黒様は日蓮宗の守護神として各寺院や檀信徒の家にお祀りされるようになりました。特に「日蓮宗大荒行堂」の第参行（三百日目の修行）では、『大黒相承』という秘伝の奥義が相伝されるなど、大黒天信仰の大切さが今も受け継がれてきています。

どうか檀信徒の皆様も、大聖人が勧められます大黒様を家にお祀りし、守護神として法華経・お題目をもつて祈念し、家内の安全を守ってもらえるようにしましょう。

また、家に祀られていても、ホコリをかぶつたままで忘れられている大黒様は、必ずお寺に持参して『ご法水』で一年の垢を落として清めてもらうようにしましょう。

当日参拝出来ない方は、大黒様をお寺にお早めにお預り下さい。

大黒様は大切に！

新規大黒様のお申込み

新たに枳入りの大黒天をご希望の方は、事務所前に飾っています見本をご覧になり、お早めにお申込み下さい。

- 一升枳（手彫り）・・・五万円
- 五合枳（手彫り）・・・四万円
- 一升枳（機械彫り）・・・三万円

《いづれも分割可能》

【開眼・ご幣代が含まれます】

教宣部員の募集！

檀信徒の皆様の中で、蓮華寺、ご先祖・自分のご信仰の為に活動をご希望の方は『教宣部』に入部して下さい。年間行事の奉仕を中心に活動して戴いております。老若男女を問いませんので、どんどんご入部下さい。

*事務所まで！

『魂入れ』『魂抜き』は必ずしよう

『魂入れ・魂抜き』は【入魂・抜魂】とも【開眼・閉眼】ともいいます。

日蓮大聖人は「されば画像、木像の仏の開眼供養は法華経に限るべし、この画木の魂魄と申す神（たましい）を入れるは法華経の力なり」と教えています。日蓮宗では、仏像や神仏の掛け軸などの新調・修復や仏壇・位牌・墓石などの【魂入れ】は、法華経・お題目のお力で、善神を呼び寄せ悪神を退散させてから行います。

【魂入れ】とは、新しく出来上がった『神仏』などが最高のお力を發揮して戴くようにとお願いし、またそれを大切にしていく事で、みんなが信心堅固・除災得幸になる事を祈る儀式をいいます。

ですから「仏作つて魂入れず」では駄目なのです。また【魂抜き】とは、その役目を終えた『神仏』などの魂を永遠に抜き、今までお世話になりましたという感謝の気持ちを現わす儀式をいいます。ですから「この神様や仏様、もう拝まないからいま

せん」などという人は、神様や仏様よりお叱りを受ける事があるのです。

【魂抜き】には仏像・掛け軸・位牌・お経本、更に大事にしてきた人形なども含まれます。

また仏像や掛け軸を新たに修復する時も、一時的に魂を抜き、その後完成した際に、もう一度魂入れを入れ直す儀式をします。

当山では、皆様からお預かりした『神仏』などを、朝のお勤めの中で、法華経・お題目を唱える中【魂入れ・魂抜き】をしています。

どちらも、皆様の生命と生活を安全に護る為に行うものですので、必ずお願いいたします。

『提灯』の募集！

「お正月」「御会式」「鬼子母神大祭」の時に境内に下げます【提灯】（ちょうちん）の募集をしています。作成価格は八千円で、年間の維持費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。お申込み下さい。

『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様のご先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様のご命日に当たる日に、旅行などで不在の時や高齢で家庭で追膳が作れない時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎一年以上使用の方で、上位の位牌壇を希望する方は数がある限り無料でお譲り致します。ですから、三席から特席に上がる事も可能です。

蓮華寺 TEL七七六一五八四〇

『靈神符』を持ちましょう!

最近は何いもよらない事故・事件・災害が多発して特に、お子さんやお年寄りが多く巻き込まれている状況です。

檀信徒の皆様も「私だけは大丈夫」という考えはお止めになりまして、どうか素直に毎月の『靈神符』(お守り)を肌身離さずお持ちになり、自分自身を心身共に守ってもらおうように致しましょう。



【二体・百八十円】

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

十一月の行事

一 日(水)『盛運祈願会』 午後一時より

- ・お守り【靈神符】の交換の日です。
- ・お勤めに参拝してお経・お題目を唱えましょう。
- ・聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・檀信徒の皆様は必ずお守りを持ちましょう。

二 日(木)甲子『大黒様の日』 朝のお勤め中

十一日(土)『鬼子母神小祭』 朝のお勤め中

十三日(月)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

- ・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・日蓮大聖人の御報恩を忘れずに参拝しましょう。
- ・十一月十三日は、当山の自家の京都大本山「妙顕寺」の開基『日像上人』の祥月命日に当りますので、共にご回向申し上げます。

二十五日(土)檀信徒研修会(唱題行) 午後七時より

☆奉仕のお知らせ

二十八日(火)大黒祭の準備 午前十時より

【幕、ノボリの掲揚、祭壇造り】

◎ご奉仕出来る方は、教宣部員以外でもどんどん歓迎致しますので時間までに集合して下さい。

◎教宣部長・杉淵昌三

☆『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月十三日午後一時より

◎『十三日のお勤め』は、日蓮大聖人の大事な月ご命日の日です。

皆様も、日蓮大聖人への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目を唱えるようお願い致します。

◎『十三日のお勤め』のお経練習用にCD・お経本を販売しています。

大黒祭

十二月三日（日）

昼十二時半より



（大黒様の行水・祈願・福引あり）

※行水と祈願の申込みは十一月十三日から受付ます。

※法要終了後、空くじなしの福引がありますので、ご家族
ご友人をお誘いの上、奮ってご参拝下さい。

※大黒様をお持ちでない方もご自由にお参り下さい。

※新たに柁入りの大黒様をお求めになりたい方は、お早目に
事務所までお申込み下さい。